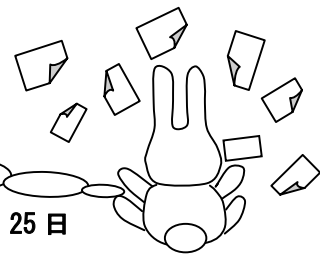


とうけい かわら版

総合企画局情報統計課

平成 10 年 8 月 25 日

(No. 103)



トレンドは一戸建！！

～都心区でも戸建の波～



建 築着工統計調査による平成9年中の新設住宅着工戸数を昭和63年と比較しますと、ほとんどの行政区で総戸数は減少していますが、建て方別（一戸建、長屋建、共同住宅）にみますと、一戸建はすべて増加しています。この一戸建の構成比を行政区別に比較しますと〔表-1〕、昭和63年にはすべての行政区で構成比が50%を下回っていましたが、平成9年には周辺区を中心に5つの区で50%を上回っています。特に南区では構成比が3倍近くにも上昇しています。また、都心区でもこの傾向で推移しており、9～10%台から20～30%台へと大きく伸びています。

こ のような一戸建の構成比の劇的な上昇には、依然根強い“一戸建指向”とあいまって建築基準法による規制緩和の影響からか、木造3階一戸建住宅等の増加がみられ、相対的に宅地余剰が少なく、単位当たり土地価格が高い都心区でもある程度の床面積を確保できることなどが増加の要因になっているようです。

都 心区まで含めた一戸建のトレンドがこのまま続くのかどうか、構成比50%の壁をいつ突破するのか今後の着工に興味がもたれるところです。

表-1 行政区別にみた一戸建新設住宅着工戸数及び構成比の比較

(単位：戸，%)

行政区	平成9年				昭和63年		
	構成比の指数 (昭和63年=100)	総戸数	一戸建戸数	構成比	総戸数	一戸建戸数	構成比
京都市	186.0	18,514	8,095	43.7	23,553	5,525	23.5
北区	152.9	1,568	856	54.6	1,685	602	35.7
上京区	219.4	1,226	388	31.6	1,722	248	14.4
左京区	131.2	2,416	945	39.1	2,064	615	29.8
中京区	172.3	2,107	472	22.4	2,182	283	13.0
東山区	199.5	583	223	38.3	834	160	19.2
山科区	154.0	1,729	734	42.5	2,189	604	27.6
下京区	241.2	1,057	247	23.4	1,644	160	9.7
南区	286.6	1,066	547	51.3	1,586	284	17.9
右京区	229.3	2,107	1,106	52.5	3,282	752	22.9
西京区	138.1	1,777	1,058	59.5	2,020	870	43.1
伏見区	242.2	2,878	1,519	52.8	4,345	947	21.8

お知らせ

ご覧いただいております情報や各種統計情報をインターネットでも提供しています。

URL=<http://www.city.kyoto.jp/sogo/toukei/>